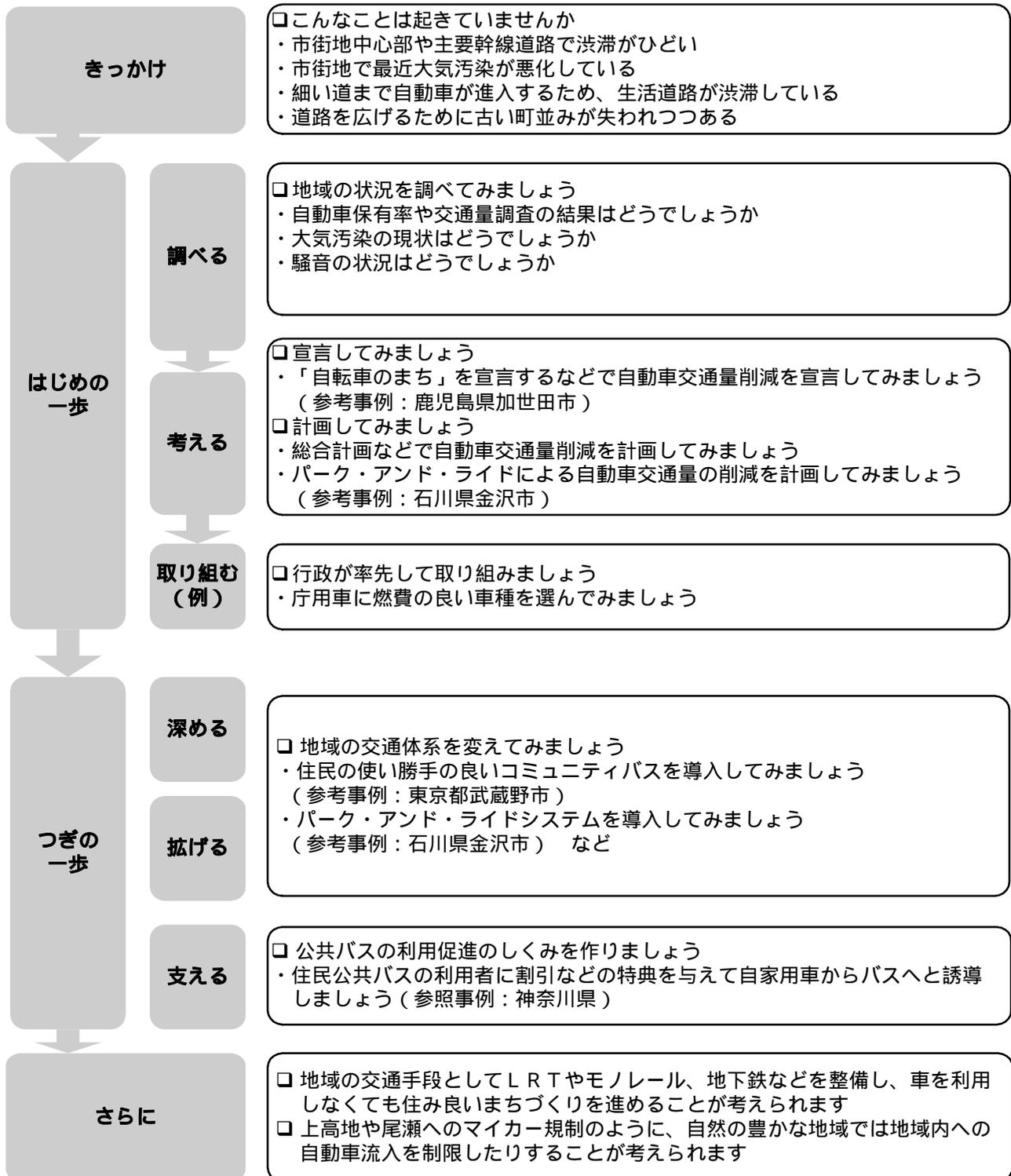
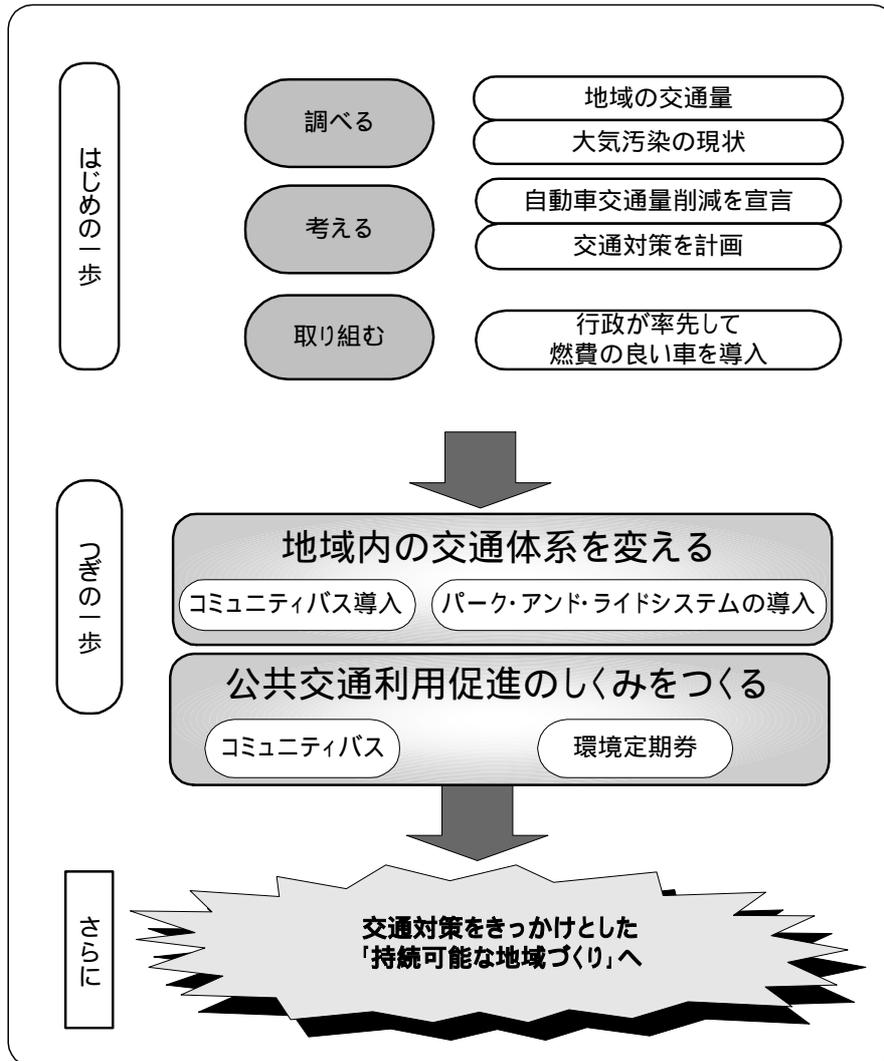


2. 交通・大気に関する持続可能な地域づくり - 自動車に過度に依存しない地域づくり -

あなたの地域では、市街地中心部などで大気汚染が進んでいませんか。
大気をきれいにしていくためには、自動車から出る排気ガスを少なくするだけでなく、地域の交通システム自体を変えていくことも必要です。ここでは、地域の交通状況に着目した環境への負荷の少ない地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

石川県金沢市（事例集）

市中心部への交通集中が激しいことから、TDM（交通需要マネジメント）施策を精力的に実施しており、その中で「パーク・アンド・ライドシステム」の導入などの取り組みを進めています。

滋賀県八日市市（事例集）

自転車専用道の設置など、市内の道に自転車の走行空間を張りめぐらせ、わが国初の自転車都市宣言を実施しました。

鹿児島県加世田市（事例集）

「サイクルシティかせだ」を宣言し、サイクリンピックの開催や公園への自転車・歩行道の整備など市民に自転車を浸透させる活動を積極的に行っています。

岡山県美星町（事例集）

「美しい星空を守る美星町公害防止条例」により、適正な野外照明のあり方などを定め、美しい星空を守りながら、それを地域の特徴として地域振興に活かしています。

東京都板橋区（事例集）

自動車排気ガス対策をきっかけとして取り組み、低公害車導入を実施しています。

公共交通バスを考える会（<http://www.mmjp.or.jp/bus/index.html>）

神奈川県ではバス利用者に土日などの運賃を安くするなどの経済的優遇措置を与えることで移動手段を自家用車からバスへと誘導する「環境定期券」を導入しています。

交通エコロジー・モビリティ財団（<http://www.ecomo.or.jp/>）

環境にやさしい交通やバリアフリー計画に関するノウハウの提供などを行っています。